

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和05年06月23日(金)

事務事業		スポーツ栄誉賞等表彰事業		担当課	生涯学習スポーツ振興課	担当係	生涯スポーツ係	管理番号	73212	
総合計画	大項目	2	次代を担う人と文化を育むまち		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				
	中項目	2	誰もが生きがいをもち学ぶことのできるまちづくり		根拠法令 個別計画等	深谷市スポーツ栄誉賞表彰規程				
	小項目	2	スポーツ・レクリエーションの推進							
	主要プロジェクト									
事業概要		本事業は、各種大会において優秀な成績をおさめ、深谷市のスポーツ振興に貢献したその栄誉を顕彰するため、市民又は市内に本拠を有する学校・団体等を対象として、スポーツ栄誉賞（国際大会出場・全国大会2位以上）、体育賞（日本記録樹立・全国大会8位以内・関東大会3位以内・県大会1位）を贈呈することで、市民の意識の高揚を図り、スポーツ・レクリエーション活動の活性化を目指すものである。								
目的 ※何のために		市民の意識の高揚を図り、スポーツ・レクリエーション活動の活性化を目指す。								
対象 ※誰・何を対象に		市民又は市内に本拠を有する学校・団体等								
手段 ※どのように		スポーツ栄誉賞、体育賞を贈呈する。								
成果 ※何を求めるか		受賞者に対して、効率的かつ適正な表彰を行う。								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他（ ）								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額（円）
		一般会計	10	教育費	6	保健体育費	1	保健体育総務費	スポーツ栄誉賞等表彰事業	321,553
		一般会計	10	教育費	6	保健体育費	1	保健体育総務費	各種大会等開催費派遣費補助金支給事業	470,700
本事業の 主な業務		・スポーツ栄誉賞・体育賞の表彰							・	
		・							・	
		・							・	
		・							・	
		・							・	
		・							・	

2. 事業費（投入コスト）

単位：円

区分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
年度別計画		・体育賞の表彰・スポーツ栄誉賞の表彰・各種大会情報	・体育賞の表彰・スポーツ栄誉賞の表彰・各種大会情報				
事業費	予算（現額）	952,000	952,000	952,000	952,000		
	決算額	621,134	792,253	0	0		
	財源内訳	国支出金	0	0	0		
		県支出金	0	0	0		
		地方債	0	0	0		
		他特定財源	5,143	7,200	4,000	4,000	
		一般財源	615,991	785,053	948,000	948,000	
人件費	従事職員数（人）	0.43	0.53	0.53	0.53		
	人件費相当試算※	3,337,623	4,170,865	4,344,085	4,344,085		
総事業費試算		3,958,757	4,963,118	5,296,085	5,296,085		

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	目標値の算定根拠/実績値の出所		実績値							
	実績値の算出式									
活動指標 1	表彰の種類		目標値	種類	2.00					
			実績値		2.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所		前年度実績による / スポーツ栄誉賞・体育賞							
	実績値の算出式									
成果指標 1	スポーツ栄誉賞受賞者数		目標値	人						
			実績値		11.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所		表彰基準に基づくため、数値目標の設定にはそぐわない。 / 表彰実績による							
	実績値の算出式									
成果指標 2	体育賞受賞者数		目標値	人						
			実績値		202.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所		表彰基準に基づくため、数値目標の設定にはそぐわない。 / 表彰実績による							
	実績値の算出式									
			目標値							
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
			目標値							
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
			目標値							
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に合う成果がでているかを評価します。
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	各種大会において優秀な成績を収めた市民、学校、団体に栄誉を顕彰するために表彰式を挙行することができた。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	B	栄誉賞個人11名と体育賞個人41名、12団体（161名）に対して表彰した。顕彰することで、スポーツ活動の振興と市民のスポーツへの意識の高揚を図るとともに、スポーツ・レクリエーション活動の活性化を目指していく。
			評価者 生涯スポーツ係長 持田 真吾

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	B	候補者の推薦について、推薦書や添付資料を紙により提出を求めてきたが、電子データでの提出も受付。
			評価者 生涯スポーツ係長 持田 真吾

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和3年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	推薦依頼については、メールにて実施してるが、推薦書の提出については紙ベースを求めている。 推薦書や添付資料についても電子データでの提出を受け付ける。
達成状況及び その効果	電子データでの提出を受付。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	スポーツ栄誉賞等表彰事業	担当課	生涯学習スポーツ振興課	担当係	生涯スポーツ係	管理番号	73212
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		評価の内容説明					
		栄誉賞個人11名と体育賞個人41名、12団体（161名）に対して表彰した。顕彰することで、スポーツ活動の振興と市民のスポーツへの意識の高揚を図るとともに、スポーツ・レクリエーション活動の活性化を目指していきたい。					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	生涯学習スポーツ振興課長 荻塚 洋明				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和5年度に実施する 改善・改革案 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	
令和6年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	

8. 評価指標グラフ

